

# ちばの地域福祉

## 千葉県難病相談・支援センターについて

千葉県総合難病相談・支援センター  
センター長 藤田伸輔

難病相談・支援センターは、地域で生活する難病患者さんご家族の相談・支援、地域交流活動の支援などを円滑に行う拠点です。療養、日常生活上の悩みや不安等の解消を図るとともに、きめ細かな支援を実施し、生活の質の向上を推進することを目的としています。

千葉県では、二次保健医療圏に1つの拠点病院に、地域難病相談・支援センターが設置されています。また、これらを統括するために、千葉大学医学部附属病院内に総合難病相談支援センターが設置されています。

地域難病相談・支援センターでは、難病患者さんと家族に対して、個別の相談支援を行っています。一方、総合難病相談・支援センターでは、難病に携わる職員向けの研修会企画、県内患者さん同士の交流会開催、広報誌の発行等を行い、難病患者さんの生活の質の向上を間接的に支援しています。

難病患者さんと一言でいっても、障害の種類や生活上で抱えている困難は人それぞれ異なります。食事や排泄などの日常生活に困難を抱えている方もいれば、日々の暮らしを支える就労に関する困難を感じている方もいらっしゃいます。難病相談・支援センターでは、患者さんそれぞれの状況に応じて必要な地域関係機関と連携しながら、相談業務を行っています。

平成25年度に障害者総合支援法が施行され、障害者の範囲に難病等（難治性疾患克服研究事業対象の130疾患、および関節リウマチ）が追加されました。これまでは障害者手帳を持っていないと利用できなかったサービスが、難病患者さんでも利用できるようになりました。難病患者さんにとっては、介護給付のサービスや、就労支援に関するサービスを利用しやすい環境になってきたと言えます。また、今年5月23日には難病医療法が成立し、平成27年1月施行予定となりました。難病患者さんを支えるための制度が、大きく変わろうとしています。総合難病相談・支援センター（千葉大学医学部附属病院）では患者さんからの直接の相談は受け付けていないのですが、今後も地域の方々と連携し、患者さんの生活を支えるための支援ができるよう取り組んで参りたいと思います。

# 中核地域生活支援センターの地域づくり

～だれも見捨てられることのない地域へ～

夷隅ひなた 地域総合コーディネーター 池口紀夫

平成 18 年 7 月にひなたが事務局となり、実行委員会を立ち上げ「夷隅郡市タウンミーティング」を開催しました。夷隅郡市の医療と福祉の現状と課題を考える地域の活動の始まりでした。実行委員会はその後「夷隅地域づくりネットワーク」として地域づくり活動をスタートしました。このグループがその後の地域づくりの核となりました。

まず当事者や市民の一人ひとりの声を直接地域に届けるために、事前に市長と話し合っ「いすみ市の福祉を語り合う会」を立ち上げ、毎年、市の実情と課題を語り合い、年度末には政策としてまとめ、市長に提案をしました。市長はこの提案を尊重し、ほとんどの提案を実現してくれています。

例を挙げると、(1)「高齢者の孤独死対策」として「一人暮らしの高齢者の見守りネットワーク事業計画」の提案(112社の企業が参加協力し、平成25年から実施)(2)同じ趣旨で「一人暮らしの高齢者見守り訪問事業計画」(平成25年から実施)。(3)児童虐待対策として「虐待ゼロプロジェクト」(11項目の事業を提案、平成24年から実施)。(4)震災対策として、「災害弱者のための避難マニュアル」を市長に提案。(5)「重症心身障害児のための支援拠点づくり計画」を自立支援協議会に提案。推進に賛同を得る。(6)思春期の子どもたちの地域づくり参加支援として「子どもフォーラム」の開催(平成25年から2回開催、中学、高校の子どもが39人参加)、議論の上子どもたちによる政策を市長に提案、現在行政とネットワークのメンバーとの合同の委員会で「実現委員会」を立ち上げて、具体化に入っている。(7)平成24年、市から依頼を受けて「子ども支援・子育て支援施策」を委員会を立ち上げて策定し、市長に答申し、全施策を実現する方向で認められる。

○地域の介護の質の向上、介護のワーカーの交流を図る目的で「介護サービス事業者連絡協議会」を平成22年に立ち上げる。

○孤立している障害者や若者のための「たまり場」を毎月開催する。

○分野を超えたネットワークづくりとして「司法と福祉を繋ぐ会」の立ち上げ。

○人づくりとして「福祉塾」を立ち上げる。

○人づくりとして「在宅ケア研究会」を実施。

～等々。

夷隅圏域 中核地域生活支援センター 夷隅ひなた

【対象地域】勝浦市・いすみ市・夷隅郡(大多喜町・御宿町)

【連絡先】〒298-0003 いすみ市深堀689-1

Tel: 0470-60-9123

fax: 0470-60-9124

# ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

発達障害通級指導教室 「J ルーム」 (自立ルーム)

船橋市立習志野台中学校 教諭 齋藤浩司さん

発達障害通級指導教室担当・特別支援コーディネーター・サッカー部顧問



「みんなで 育てよう」

通常の学級で学んでいる発達障害のある子どもたちへの支援についてはまだまだ手探り状態です。すめられているのが実情で、より良い支援を行うには、子どもたちを取り巻く周囲の人たちの理解が必要です。

○発達障害通級指導教室 指導内容

	目的	個別指導	グループ指導
中学校	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎学力の補充</li><li>スムーズな集団活動参加のためのソーシャルスキルの向上</li><li>自立に向けての対人関係作りの改善</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>個の進度や習得方法に合わせた教材で教科指導を行います。</li><li>身だしなみや言葉遣い等、中学生としての基本的なマナーを身につけられるような場面を設定し、スキル習得をしています。</li><li>進路選択をふまえて、面接での振る舞いや話し方などのソーシャルスキルトレーニングを行っています。また、進路に向けての作文指導等も行っています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>少人数でのゲームや作業的な活動を通し、ルール遵守や将来を見据えた他者とのコミュニケーショントレーニングを行っています。</li></ul>

(船橋市教育委員会 船橋市総合教育センター指導内容等抜粋)

○入級までの手続きに関しては、在学されている中学校にその旨ご相談下さい。

## ◇トピックス：

習志野台中学校では平成27年度4月より特別支援学級の開設を予定しております。現在、船橋市内において特別支援学級と発達障害通級指導教室を開設している中学校は1校で来年度より習志野台中学校が2校目となります。

開設に向けて今年度の取り組みとして、生徒への障害に対する「相互理解」を深めていく準備を始めています。齋藤先生から「支援の必要な生徒が課題克服のために支援を受けられる学校にしたい。広義的にみると特別なことを特別にするのではなく、特に小・中学校では義務教育としてかかわる大人が必要な生徒へ、個に応じた支援していくことが教育では。」と静かな口調からも強い思いが感じられました。

また、習志野台中学校校長、牛島先生の生徒への熱い思いから、学習支援の必要な生徒に対する取り組みが計画されており、ボランティアとしての協力者を募集されているそうです。この取り組みは学力の向上は勿論ですが、相談しあえる関係づくりや「学校が生徒の居場所になる様にしたい」との事でした。





## ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

### 中核地域生活支援センター大会 in 2014

これからの地域社会のあり方を考える

— 支えあって生きること。自分を大切にすること —

**【内容】** 家族の機能は縮小化、雇用環境の悪化、地域社会のつながりは希薄になり、従来、人々が暮らすうえで基盤となっていたものが形を変えています。その中で経済的困窮、社会的孤立、生活環境への不適應など、「生きづらさ」を抱えている人が沢山います。

一人一人の困難と付き合う実践をどうするか。これからの私たちが行うべきことを前向きに考えあいましょう。

**【プログラム】** 基調講演：「誰も排除されない地域をつくっていくために」

講師：宮本太郎 さん（中央大学法学部教授）

講師の宮本太郎さんは、平成 24 年 4 月に設置された厚生労働省  
社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別  
部会」部会長として報告書のとりまとめを行いました。  
著書に「福祉政治—日本の生活保障とデモクラシー—  
「生活保障—排除しない社会へ」」などがあります。

報 告：中核センター白書 2013 報告

シンポジウム：「千葉県のこれまでとこれからを考える」

パネリスト：牛村隆一さん（鴨川市健康推進課長）

佐藤億子さん（千葉県立長生高校定時制養護教諭）

菊地 謙さん（生活自立・仕事相談センター稲毛）

コメンテーター：宮本太郎さん

コーディネーター：池田徹さん（社会福祉法人生活クラブ）

**【日 時】** 平成 26 年 7 月 22 日（火）10：00～16：00

**【会 場】** 千葉市生涯学習センター（千葉市中央区弁天 3 丁目 7 番 7 号）

**【定 員】** 先着 300 名 **【参加費】** 1,000 円

**【申込締切】** 7 月 10 日

**【申 込】** お名前・所属・ご連絡先・障害対応の必要の有無・特に配慮が必要なことをご記入のうえ、下記問合せ先まで FAX またはメールにてお申込みください。

**【問 合 せ】** 中核地域生活支援センター『長生ひなた』

TEL：0475-22-7859 FAX：0475-22-7844

E-mail：[hinata.tyousei@lilac.plala.or.jp](mailto:hinata.tyousei@lilac.plala.or.jp)

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：長生ひなた（長生圏域）茂原市長尾 2694

TEL：0475-22-7859 FAX：0475-22-7844

編 集：いちほら福祉ネット（市原圏域）市原市東国分寺台 3-10-15 TEL：0436-23-5300 FAX：0436-23-5225

※内容についてのお問い合わせは、いちほら福祉ネット（担当：高地）までお願いします。